

事業報告

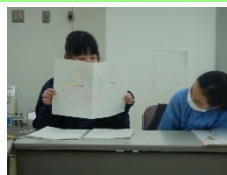
「第7期 福島こども未来塾 第6回」



令和3年12月11日(土)～12月12日(日)

【参加者】小学5年生～中学1年生

【場所】国立磐梯青少年交流の家



○事業趣旨

- OB・OGと共に防災について学習しよう。
- OB・OGと共に応急手当について学習しよう。
- 夢の実現について考えよう。
- 未来塾で体験し、興味をもって調べた内容を発信しよう。

○参加者内訳【塾生】

対象	男	女	計
小学5年生	9	19	28
小学6年生	9	12	21
中学1年生	5	0	5
中学2年生	0	0	0
合計	23	31	54

【OB・OG】

対象	男	女	計
小学生(6年)	1	3	4
中学生	11	8	19
高校生	3	2	5
大学生	2	0	1
合計	17	13	30

○活動日程

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
12/11(土)						到着受付	開校式	東京講話	昼食	入所オリエンテーション	荷物移動	応急手当	HEG(避難所運営ゲーム)	夕食	休憩	作文指導	OB・OGと話ろう	入浴	就寝準備
12/12(日)	起床	朝のあいさつ	朝食	移動	調べ学習ミニ発表会	調べ学習ミニ発表会	昼食	午五講話	移動	開校式									



○研修トピックス

「富士所長による震災講話」

県庁が被災した時の体験談を交えて、自助、共助、公助について学んだ。福島県内は、地震だけでなく、火山、水害、原子力災害などの可能性もある。参加者は、「日ごろからの備えが必要」ということを学んだ。

「災害時の応急手当」

日本赤十字社の方を講師にお招きし、応急手当やHUG(避難所運営ゲーム)を行い、防災について学んだ。HUG(避難所運営ゲーム)の時に、OB・OGの先輩方がリーダーシップを発揮し、塾生の意見を上手に引き出したり、進んで意見を言う場面が多く見られた。OB・OGの積極的に発表する姿を見て刺激を受けていた。

「OB・OGと語る会」

マスクやソーシャルディスタンス等の新型コロナウイルス感染症対策を徹底した中で、OB・OGの方と語りあった。ケーキとジュースを食べながら、自己紹介をしたり、OB・OGが体験した福島こども未来塾に残ったプログラムなどを話題に楽しい雰囲気の中で時間を過ごした。OB・OGの方と絆を深めることができた。

「講話：夢に向かって」

夢に向かって頑張る方として、猪苗代町の地域おこし協力隊の長友氏をお招きしてお話しをしていただいた。講話の後に、「自分がやってみたいこと」、「自分の得意なこと」、「こんな大人になりたい」など塾生一人一人が自分を見つめて、将来像を思い浮かべていた。

「調べ学習ミニ発表会」

調べ学習ミニ発表会では、福島こども未来塾で学んだ体験をもとに塾生一人一人が、興味のあることを調べ、まとめたものをOB・OGの前で発表した。発表後、OB・OGの方から、感想や最終発表に向けたアドバイスももらった。

○成果と課題

<成果>

- 新型コロナウイルス感染対策を徹底したなかでの活動だったので、長時間、話し合うことはできなかったが、充実した話し合いとなったので、塾生、OB・OGにとって満足のいくものになった。
- 東日本大震災や阪神・淡路大震災の反省から学ぶことで、防災についての理解を深めることができた。アンケートには、「実際の生活に生かしたい」「防災のアイテムなどを準備する」などの感想が多かった。
- 応急手当を学んだり、HUG(避難所運営ゲーム)を体験することで、参加者一人一人が防災に対する意識が高まり、普段から「もしものために備えること」の大切さを実感した。

<課題>

- 講義形式の内容が多かったので、もう少し自然体験も取り入れながら進める等、メリハリをつけたプログラムにしていく必要がある。

